

# すずらん会だより 99号

2025年1月



## インクルーシブフェスティバル2024

12月14日(土)毎年楽しみにしているインクルーシブフェスティバル、今年も自閉症の娘を連れて行ってきました。数日前からテンション高めの様子だったので、午前中しか居られませんでした。それでも充分楽しめました♪

開会式には間に合いませんでしたが、今年の特典ステージ、片岡 亮太さんの和太鼓&トークショーが始まる為、会場に入り着席。間もなく会場一杯に響き渡る和太鼓音と共にムキムキの腕でバチを振り上げる片岡さんが現れました。大きな音が心身に染みて、心地よさに浸っていると、不思議な声がかすかに聞こえてきました。その声は、森の中にいるような、はたまた異世界に吸い込まれたような、そんな不思議な感覚になりました。後のトークショーで明かされたそれは、モンゴルのホーミーという発声法だそうで、1人の歌手が2つの異なる音を表現する歌唱法という事でその他にも、違う国の楽器を取り入れたりして演奏しているそうです。片岡さんは全盲プロ和太鼓&パーカッショニストとして活動している他、社会福祉士として仕事もしているそうで、演奏&トークをセットにして、あちこちで活動しているそうです。と、そこまでで落ち着きのなくなった娘に連れられ、仕方なく外へ出る事にしました。外にはたくさんの施設のお店が並んでおり、様々な手作りの品々を販売されていました。元気な呼び込みの中娘に急かされながらも、可愛い陶器の皿・手帳・カレンダー・木製のイス・スマホスタンド・パン・からあげ・クリスマスリース etc、持ちきれないほど買ってしまいました。どれもがオリジナル感あふれる素敵な物で愛情を感じられるものでした。午後からのステージ発表も見えたのですが、ここでタイムオーバー。娘に引っ張られ会場をあとにしました。最後まで居られず残念ですが、今年も娘と来られてよかったです。

また来年も楽しみに一年間まっています。

E・M

## SST 講座に参加

12月11日(水)三和庁舎3Fコスモスプラザに於いて、古河保健所と家族会の共催で「SSTを通して考える、少しでも楽になるためのコミュニケーション」と題しての講習会が行われました。

講師は筑波大学附属病院精神科デイケア作業療法士の羽田舞子さん。精神疾患では、認知機能障害が起こっているとの事です。

コミュニケーションをとる時の「コツ」として

- \*こちらにしっかりと注意を向けてもらう
- \*視覚や聴覚をもちいる
- \*具体的な内容にする
- \*順番をつける
- \*必要な事だけ伝える
- 頼み事をする時
- \*相手の顔を見る
- \*相手にしてほしいと思う事を正確に話す
- \*そうしてもらえるとどう感じるか、相手に伝える(うれしい・助かるなど)

この事を実際に2人1組で、頼み事をする人、頼まれる人でやってみましたが、なかなか難しかったです。

この講座で気付いた事は、頼み事をする時もよけいな事を言って具体性に欠けていた様に思われます。これからの会話に気を付けて、少しでも気持ち良くくらしませますようにと思っています。

M・O

## 県西家連

12月24日(火)筑西家族会クリスマス会に参加しました。ガマの油売り・トウガラシ売り口上・マジックショーなどの本物のパフォーマンスを楽しくみさせて頂きました。古河地方家族会もボーリングゲームをやり、大変盛り上がりました。最後はピンゴゲームで楽しい時間を過ごしました。筑西市では、市主催の精神福祉講座を開き、ボランティアを募集し多くのボランティアさんがいる事に驚きつつ、古河市でも積極的に行ってほしいものです。

Y・I

問い合わせ/連絡先: 茨城県古河市新久田 271-1

福祉の森会館(特定非営利活動法人ふれあい内)

☎/fax: 0280-48-5878 e-mail: info@fureai-net.org